

平成 21 年度

南城市教育事務点検評価報告書

南城市教育委員会

目 次

議会への報告について	1
点検評価について	2
諮問文	3
答申書	5
1 教育委員会制度について	8
(1) 教育委員会議の状況	
(2) 教育委員の調査研究状況	
(3) 教育委員会組織及び職員配置状況	
(4) 財政状況	
(5) 教育委員会制度の点検評価	
2 事務事業について(評価)	16
(1) 生涯学習の推進	
(2) 学校教育の充実	
(3) 国際化・情報化への対応	
(4) 青少年の健全育成	
(5) 社会教育の充実	
(6) スポーツの振興	
(7) 文化の振興	
(8) 教育行政の充実	

議会への報告について

平成19年6月27日に公布（平成20年4月1日施行）された地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条において、新たに教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について議会に提出するとともに、広く公表することとされました。

南城市教育委員会では、同法に規定する教育事務の点検評価を実施するにあたり、教育に関し学識経験を有する者で構成する南城市教育事務点検評価委員会を設置しました。

平成22年9月16日付で、南城市教育事務点検評価委員会委員長に対し「平成21年度南城市の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」諮問を行いました。

南城市教育事務点検評価委員会においては、教育委員会制度の点検評価として3事務事業、平成21年度南城市教育主要施策に属する40事務事業について、各課から提出された資料の点検及び事業ごとのヒヤリング等を実施するなど、慎重かつ精力的な審議が行われました。

そして、平成22年11月19日付、南城市教育事務点検評価委員会委員長より答申を受けました。

本市教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価につきまして、諮問及び答申の内容を取りまとめ議会へ報告するものであります。

平成22年12月 7日

南城市教育委員会
委員長 上原 弘 一

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

点検評価について

(1) 点検評価対象年度

平成21年度

(2) 点検評価の方法

点検評価については、教育委員会制度に加え、平成21年度教育主要施策である「生涯学習の推進」、「学校教育の充実」、「国際化・情報化への対応」、「青少年の健全育成」、「社会教育の充実」、「スポーツの振興」、「文化の振興」、「教育行政の充実」の8分野から抽出された43事務事業を点検評価する。点検評価するにあたり、事業ごとの教育事務点検評価シートを作成し、達成度・成果・効果・妥当性を視点に評価を行った。さらに、教育事務点検評価業務実施本部による内部評価に加え、南城市教育事務点検評価委員会（附属機関）による外部評価を行った。

※総合評価基準

ランク	解 説
A	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。
B	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
C	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
D	成果が上がっておらず、抜本的改革が必要である。
E	成果が上がっておらず、要廃止検討の必要がある。

資 料

南教総第 462 号
平成22年9月16日

南城市教育事務点検評価委員会
委員長 儀間 朝昭 殿

南城市教育委員会
教育委員長 上原 弘一

平成21年度南城市の教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価について（諮問）

平成21年度南城市の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
について、南城市教育事務点検評価委員会規則（平成21年教委規則第10号）第
2条の規定により諮問いたします。

諮問事項

平成21年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

諮問理由

平成19年6月27日に公布され、平成20年4月1日から施行された地方教育
行政の組織及び運営に関する法律第27条に基づき、教育委員会の事務の管理及
び執行の状況の点検、評価を実施することになったため。

諮問内容（平成 21 年度）

教育委員会制度の点検評価項目

- （１）教育委員会議の開催
- （２）教育委員の調査研究状況

教育委員会主要施策点検評価項目

I 生涯学習の推進

1. 生涯学習推進体制の基盤整備
2. 生涯学習機会の充実

II 学校教育の充実

1. 豊かな心を培う教育の推進
2. 確かな学力を身につける教育の推進
3. 丈夫な体と体力を育む教育の推進
4. 食に関する教育・体験的な教育の推進
5. 特別支援教育の整備と支援体制の充実
6. 世界と手をつなぐグローバルな教育の充実
7. 環境教育の推進
8. 魅力ある学校づくりの推進

III 国際化・情報化への対応

1. 国際理解教育・外国語教育の推進
2. IT教育のための環境整備の拡充

IV 青少年の健全育成

1. 青少年健全育成活動の推進
2. 地域活動・体験活動の拡充
3. 学校・家庭・地域社会の連携

V 社会教育の推進

1. 社会教育基盤の整備・充実
2. 家庭教育力の向上

VI スポーツの振興

1. 生涯スポーツの推進
2. 社会体育基盤の整備

VII 文化の振興

1. 地域文化の振興
2. 文化財保護と整備の推進
3. 市史編集事業

VIII 教育行政の充実

1. 学校施設・設備の整備
2. 人材育成
3. リカレント教育

資 料

答 申 書

南城市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検
及び評価について

平成22年11月19日
南城市教育事務点検評価委員会

はじめに

教育事務点検評価委員会は、平成22年9月16日付、教育委員会委員長から「平成21年度南城市の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」諮問を受けて精力的に審議を重ねてきた。

本委員会では、事務事業点検評価業務実施本部が①市民のニーズに沿った事業であるか、②独自性のある事業であるか、③事業効果があるか等の視点から検討して、全事業の中から抽出した43事業の管理及び執行の状況について審議した。

審議に際しては、関係各課等からの資料の提供を受けるとともに、概要の説明及び状況報告等を聴取し、事業の管理及び執行状況を的確に把握した。

教育委員会におかれましては、この答申を基に、教育に関する事務の管理及び執行の改善を進めていただきたい。

答 申

1. 南城市の平成21年度教育に関する事務の管理及び執行の状況は、昨年度に続き、総じて良好に推移している。

教育委員会制度に関する3事業及び教育施策に関する抽出による40事業の総合評価をランクごとにみると、評価Aが24、Bが17、Cが1、Dが1、Eが0となっている。

2. 教育委員会制度については教育委員会の責任体制の明確化や体制の充実、教育の地方分権が進められる中、本市の教育委員活動は、会議の開催及び研修会等への参加による研鑽、学校や地域からの情報の収集・分析が精力的に取り組まれている。

3. 生涯学習における公民館事業や図書館の果たす役割は重要なものと認識する。公民館事業については、多様な講座や学級の開設により多くの市民が参加した。今後とも市民が主体的に考え、開設する講座等ができるような取組が望まれる。

図書館運営については、今後とも市民がより利用しやすいようなシステムの構築に努めて貰いたい。

4. 学校教育を充実させるためには学校・家庭・地域が一体となった取り組みが必要不可欠である。学習意欲回復支援員等の配置により学力向上支援策は効果を上げている。今後とも子ども達の学習意欲の高揚と生活習慣の確立を支援するボランティア組織の強化と学習支援ボランティアの充実・拡大等、継続的な取組が必要である。
5. 国際化・情報化への対応については、海外短期留学や英語教育について先駆的な事業を展開する中で、児童生徒自ら英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする意欲が高まった。今後とも継続して取組んで貰いたい。
6. スポーツ関連施策においては各種スポーツ教室、大会等の開催により所期の目的は達成されている。今後は数多い社会体育施設の管理、利用促進及び老朽化への対応等について総合的に検討する必要がある。
7. 文化振興においては、「佐敷地区発掘調査事業」や「大里地区発掘調査事業」による国指定重要文化財の指定に向けた取組や『南城市史 総合版（通史）』を発刊するなど、精力的に事業が展開されている。今後とも南城市の歴史・文化遺産の継承発展に取組んで貰いたい。
8. 教育委員会の会議、情報収集及び調査研究の3事業並びに教育施策に関する40事業、計43事業の管理・執行状況についての点検・評価は別紙に記した。

南城市教育事務点検評価委員会

委員長	儀間 朝昭
副委員長	中村 一男
委員	新里 光子
委員	宮城 道子
委員	大城 武春

1 教育委員会制度について

教育に関する事務を行う場合、政治的中立性と安定性の確保が強く要請されます。そのため、地方公共団体はその長から独立した行政機関として、教育委員会が設置されています。教育についての方針や施策は、教育委員の合議で決めています。

南城市教育委員会は、5人の教育委員をもって組織している合議制の執行機関です。教育委員は、市長が議会の同意を得て任命する。委員の任期は4年です。

委員長は、委員の中から互選され、教育委員会の会議を主宰し、委員会を代表する。また、教育長は、委員の中から教育委員会が任命し、教育委員会の指揮監督の下に教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局の事務を統括し、所属職員を指揮監督する。

教育委員（平成21年度）

委員長	委員長職務代理者	委員	委員	委員（教育長）
上原 弘一	金城サエ子	銘苺 春俊	親川 朝子	高嶺 朝勇

(1) 教育委員会会議の状況

平成21年度教育委員会会議開催数

	平成20年度	平成21年度
定例会	12	12
臨時会	6	4
合計	18	16

法律で義務付けられている月一回の定例会の他、喫緊の議案に対し迅速に対応するよう、臨時会を必要に応じて開催した。また、定例会においても勉強会や各課業務報告等その時々話題を審議するなど、活発な意見交換を行った。

(2) 教育委員の調査研究状況

教育委員は、課題施設等の視察、学校訪問、各種行事への参加等事務局からの教育行政情報の聴取、専門知識収集のための研修会等への参加、他市町村教育委員会の情報収集及び課題解決の方向性模索のため各教育機関等への訪問などを通して教育関係情報の収集に努めている。

平成21年度教育委員の活動

	日付	行先	行事等
1	21, 4, 1	玉城庁舎	南城市立小中学校職員採用、管理職辞令交付式
2	21, 4, 1	大里改善センター	小中学校教職員辞令伝達式
3	21, 4, 8	大里南小学校	大里南学校小入学式
4	21, 4, 8	玉城小学校	玉城小学校入学式
5	21, 4, 8	知念小学校	知念小学校入学式
6	21, 4, 8	知念中学校	知念中学校入学式
7	21, 4, 8	佐敷中学校	佐敷中学校入学式
8	21, 4, 8	大里中学校	大里中学校入学式
9	21, 4, 9	大里改善センター	大里南幼稚園入学式
10	21, 4, 9	船越幼稚園	船越幼稚園入学式
11	21, 4, 10	玉城庁舎	南城市体育協会評議委員会
12	21, 4, 22	大里庁舎	南城市教育委員会議定例会
13	21, 5, 1	玉城中央公民館	南城市交通安全推進協議会総会
14	21, 5, 11	北中城村	第54回沖縄県市町村教育委員連合会定期総会並び研修会
15	21, 5, 12	北中城村	第54回沖縄県市町村教育委員連合会定期総会並び研修会
16	21, 5, 17	シュガーホール	沖電シュガーホール新人演奏会
17	21, 5, 19	シュガーホール	南城市学力向上対策推進協議会総会並び教育講演会
18	21, 5, 21	玉城庁舎	南城市青少年育成市民会議総会
19	21, 5, 24	佐敷中学校	佐敷中学校創立60周年屋内運動場落成式典・祝賀会
20	21, 5, 25	大里庁舎	南城市育英会運営委員会
21	21, 5, 26	大里庁舎	南城市教育委員会議定例会
22	21, 5, 27	奥武島	奥武島ハリー
23	21, 5, 28	百名幼・小学校	百名幼稚園・小学校計画訪問
24	21, 5, 31	海野地区	海野ハリー
25	21, 6, 2	大里庁舎	南城市育英会理事会
26	21, 6, 2	大里南幼・小学校	大里南幼稚園・小学校計画訪問
27	21, 6, 3	知念幼・小学校	知念幼稚園・小学校計画訪問
28	21, 6, 7	大里南幼・小学校	学校公開日（授業参観）
29	21, 6, 7	大里北幼・小学校	学校公開日（授業参観）
30	21, 6, 19	玉城幼・小学校	玉城幼稚園・小学校計画訪問
31	21, 6, 25	大里庁舎	南城市教育委員会議定例会
32	21, 6, 26	船越幼・小学校	船越幼稚園・小学校計画訪問
33	21, 6, 27	久高島	久高小中学校舎落成・久高小100周年式典
34	21, 6, 29	佐敷幼・小学校	佐敷幼稚園・小学校計画訪問

	日付	行先	行事等
35	21, 6, 30	大里北幼稚園・小学校	大里北幼稚園・小学校計画訪問
36	21, 7, 1	玉城中学校	玉城中学校計画訪問
37	21, 7, 1	シュガーホール	南城市少年の主張大会
38	21, 7, 2	大里庁舎	船越小整備基本計画審議会
39	21, 7, 2	大里庁舎	玉城幼整備基本計画審議会・辞令交付式
40	21, 7, 3	知念中学校	知念中学校計画訪問
41	21, 7, 6	佐敷中学校	佐敷中学校計画訪問
42	21, 7, 7	大里庁舎	船越小整備基本計画審議会
43	21, 7, 8	大里中学校	大里中学校計画訪問
44	21, 7, 9	糸満市	島尻教育委員連合会理事会総会
45	21, 7, 10	那覇市民会館	沖縄県市町村教育委員研修
46	21, 7, 13	久高島	大里幼、小、中学校計画訪問
47	21, 7, 15	シュガーホール	社会を明るくし「青少年の深夜徘徊防止」等市民大会
48	21, 7, 21	大里庁舎	船越小整備基本計画審議会
49	21, 7, 23	大里庁舎	南城市教育委員会議定例会
50	21, 7, 31	大里改善センター	交通事故防止市民大会
51	21, 8, 4	大里庁舎	船越小整備基本計画審議会
52	21, 8, 19	大里庁舎	船越小整備基本計画審議会
53	21, 8, 20	大里庁舎	南城市教育委員会議定例会
54	21, 8, 25	大里庁舎	船越小整備基本計画審議会答申
55	21, 8, 27	長崎県島原	第8回九州地区市町村教育委員研修
56	21, 8, 28	長崎県島原	第8回九州地区市町村教育委員研修
57	21, 9, 6	大里中学校	大里中ふるさと伝統芸能祭
58	21, 9, 12	大里庁舎	南城市中生高校生海外短期留学生及びESL報告会
59	21, 9, 16	玉城庁舎	南城市祝賀実行委員会
60	21, 9, 20	久高小中学校	久高, 佐敷小運動会
61	21, 9, 29	大里庁舎	南城市教育委員会議定例会
62	21, 9, 30	シュガーホール	教育講演会
63	21, 10, 4	大里南小学校	秋の大運動会
64	21, 10, 4	知念小学校	運動会
65	21, 10, 4	大里北小学校	運動会
66	21, 10, 7	大里改善センター	ハワイ大里同志会交流会
67	21, 10, 8	大里南幼稚園	運動会参観
68	21, 10, 18	大里改善センター	講演会(発達障害を持つ子へのアプローチ)
69	21, 10, 23	ユインチ南城	消防人の集い
70	21, 10, 27	県教育センター	沖縄県「文字活字文化の日」記念フォーラム
71	21, 10, 28	大里庁舎	南城市教育委員会議定例会
72	21, 10, 28	知念社会福祉センター	「弁当の日」実施について保護者説明会
73	21, 10, 31	佐敷	尚巴志ハーフマラソン大会開会式
74	21, 11, 6	知念	総合文化祭オープンセレモニー
75	21, 11, 8	馬天小学校	馬天小学校運動会

	日付	行先	行事等
76	21, 11, 9	大里庁舎	南城市教育委員会議臨時会
77	21, 11, 13	玉城中学校	英語教育研究発表会(第3年次)
78	21, 11, 13	大里改善センター	島添の丘創立25周年式典・祝賀会
79	21, 11, 20	糸満市	島尻市町村教育委員研修会
80	21, 11, 25	大里庁舎	南城市教育委員会議定例会
81	21, 11, 28	百名小体育館	おもしろ科学教室イン南城
82	21, 11, 29	大里改善センター	むぎの子共同保育園20周年記念コンサート
83	21, 12, 1	大里庁舎	環境教育講演会
84	21, 12, 6	知念中学校	総合文化発表会
85	21, 12, 9	大里中学校	生徒指導総合連携推進事業研究発表会
86	21, 12, 12	大里改善センター	青少年深夜徘徊防止パレード
87	21, 12, 16	知念小学校	国際理解教育研究発表会
88	21, 12, 24	大里庁舎	南城市教育委員会議定例会
89	22, 1, 10	島添の丘	南城市大里新春餅つき大会
90	22, 1, 10	シュガーホール	平成22年南城市成人式
91	22, 1, 17	大里北小学校	大里北小学校創立130周年記念式典・祝賀会
92	22, 1, 21	大里庁舎	南城市教育委員会議定例会
93	22, 1, 31	大里南小学校	学芸会参観
94	22, 1, 31	知念小学校	学対発表学芸会
95	22, 2, 3	県庁	沖縄県市町村教育委員研修
96	22, 2, 5	ユインチ南城	中国深洲青少年音楽交流会歓迎会
97	22, 2, 9	ユインチ南城	中国深洲青少年音楽交流会
98	22, 2, 13	豊見城	島尻地区学対実践発表会
99	22, 2, 15	大里庁舎	南城市教育委員会議定例会
100	22, 2, 19	佐敷老人福祉センター	ボランティア報告会
101	22, 2, 20	大里改善センター	琉歌表彰式・文化講演会
102	22, 2, 21	大里改善センター	南城市シマクトゥバお話し大会
103	22, 2, 22	大里改善センター	平和の文化子供展
104	22, 2, 26	大里庁舎	南城市教育委員会議臨時会
105	22, 2, 26	ユインチ南城	南城市叙勲等受賞祝賀会
106	22, 3, 2	大里庁舎	南城市教育委員会議臨時会
107	22, 3, 12	市内各中学校	卒業式
108	22, 3, 19	市内各幼稚園	卒園式
109	22, 3, 20	市内各小学校	卒業式
110	22, 3, 26	大里庁舎	南城市教育委員会議定例会
111	22, 3, 31	大里庁舎	南城市教育委員会議臨時会

(3) 教育委員会組織及び職員配置一覧 (平成21年4月現在)

組 織		人 員	
事務局	教育部 計36 (4)	部長	1
		教育総務課	12
		教育施設課	8 (4)
		生涯学習課	7
		文化課	8
教育機関 計43 (117)	幼稚園 (8園)	18 (17)	
	小学校 (9校)	5 (35)	
	中学校 (5校)	4 (19)	
	公民館 (2館)	1 (5)	
	図書館 (4館)	0 (8)	
	社会体育施設(14施設)	0 (15)	
	給食センター(3センター)	16 (18)	

※ () 内は臨時・嘱託職員数

(4) 財政状況

平成21年度の南城市の一般会計予算は17,834,796千円で前年度当初予算と比べ670,299千円の増となっている。

その内、教育予算は3,548,014千円で前年度当初予算と比べと158,430千円(4.7%)の増で、一般会計に占める比率は、19.9%となっている。

平成21年度教育予算財源分類

● 歳入

(単位：千円)

項目	H21年度	H20年度	比較	増減率	構成比
一般財源	1,321,315	1,454,533	△133,218	△9.2%	37.2%
国県支出金	856,696	535,732	320,964	59.9%	24.1%
市債	1,069,300	1,117,000	△47,700	△4.3%	30.1%
その他	300,703	282,319	18,384	6.5%	8.5%
合計	3,548,014	3,389,584	158,430	4.7%	100.0%

● 歳出

(単位：千円)

項目	H21年度	H20年度	比較	増減率	構成比
教育総務費	317,692	279,264	38,428	13.8%	9.0%
小学校費	1,809,454	1,838,846	△29,392	△1.6%	51.0%
中学校費	194,069	188,010	6,059	3.2%	5.5%
幼稚園費	498,467	184,248	314,219	170.5%	14.0%
社会教育費	274,560	235,544	39,016	16.6%	7.7%
保健体育費	78,917	270,578	△191,661	△70.8%	2.2%
学校給食費	374,855	393,094	△18,239	△4.6%	10.6%
合計	3,548,014	3,389,584	158,430	4.7%	100.0%

(5) 教育委員会制度の点検評価

事業名 (担当課)	事業概要	評価区分	総合評価	評価の説明
教育委員会 議 (教育総務課)	教育委員会は、県及び市町村等に置かれる行政委員会の一つで合議制の執行機関である。人格が高潔で幅広い識見を有する非常勤の委員をもって組織され、大所高所から基本方針を決定しその方針の決定を受け教育行政の専門家としての教育長が、事務局を指揮監督して執行する。	内部評価	A	地教行法の法律改正以来、教育委員会の責任体制の明確化や体制の充実などが求められる中、各種研修会で更なる研鑽を積み、議案審議においては、慎重審議がなされ委員の活動は、より活性化した。また各委員においては活動日誌の活用を図り、今後の研究や課題解決により迅速な対応が望まれる。
		外部評価	A	教育委員会は本市の教育行政について大所高所から審議を行い方針を定めるものである。法律で義務付けられている月1回の定例会や喫緊の議案に対し迅速に対応するため臨時会の開催、教育現場の視察、研究会等と幅広く活動していることは高く評価できる。今後とも教育委員会議の在り方や改善策を願いたい。
教育委員の活動及び情報収集状況 (教育総務課)	教育委員会は、行政委員会の一つで合議制の執行機関である。人格が高潔で幅広い識見を有する非常勤の委員をもって組織され、大所高所から基本方針を決定しその方針の決定を受け教育行政の専門家としての教育長が、事務局を指揮監督して執行する仕組みになっており、委員活動はより活性化を目指し、課題解決のための情報収集に努めている。	内部評価	A	普段から市民の声に関心を持ち、地域教育懇談会への参加、学校の各種行事への参加や多くの教育委員研修会や各種行事への参加等により、委員の活動は活性化し、迅速適正な課題解決に向けた教育行政に意見が反映されている。
		外部評価	A	地域懇談会や学校行事等に参加して現場の情報を収集・分析するとともに、研修会や他市町村の教育委員との情報交換等で得た情報を教育行政に反映させている事は高く評価できる。今後とも地域の意見に耳を傾け、的確な指導助言や学校教育の充実発展に努めて貰いたい。

<p>教育委員の 学校訪問 (教育総務課)</p>	<p>学力向上対策の一環として教育委員並びに教育委員会部課長が南城市内各幼稚園及び小中学校の視察訪問することで、各園、各学校における経営状況や教育課程の推進状況、授業改善や指導法工夫改善をめざした学習指導状況を把握する。また、校内の施設設備等の視察検証を通して不整備箇所や要望事項を確認し、学校教育をよりよく進展させる手立てを講じる機会とする。</p>	<p>内部 評価</p>	<p>A</p>	<p>計画的に全校の学校訪問が実施され、各園・各学校の緊急課題や要望事項等、情報収集が的確に図られ所期の目的が達成された。</p>
	<p>外部 評価</p>	<p>A</p>	<p>教育委員の学校訪問が計画的に実施され、学校現場の状況や各学校の特徴が把握されるとともに、各園、各学校の緊急課題や要望等の情報収集が図られ年次計画に反映されたことは高く評価できる。今後とも学校現場の状況把握に努め、それを教育行政に反映させて貰いたい。</p>	

2 事務事業について

(1) 生涯学習の推進

事業名 (担当課)	事業概要	評価区分	総合評価	評価の説明
公民館事業 (生涯学習課)	市民の生涯学習の場として、地域の子どもから高齢者まであらゆる人々を対象に学習、文化、スポーツ、レクリエーション活動の場を提供する。	内部評価	B	各講座・学級に延べ 1,712 人の参加があったことは評価できる。受講生募集の方法や広報等を工夫する必要がある。募集の枠（地域）が広すぎて地域の要望に対応できているか不安が残る。全世帯チラシ配布は募集の方法として最適だが経費面また印刷の時間に多く取られかなり効率が悪い。
		外部評価	B	生涯学習推進の観点から多様な講座・学級を開設し 1,700 人余の市民が参加したことは評価できる。今後は自治会が主体的に講座開設できる環境づくりに取り組んで貰いたい。
図書館管理 運営事業 (生涯学習課)	図書館資料を収集・整理・保存して市民の利用に供する。	内部評価	A	平成 21 年度サーバーの入替時にシステムの改修を行い、これまで蔵書の登録館のみでの貸し出しとなっていたが、どこでも貸出・返却ができるように改善した。併せて、メール便を利用して他館の本を取り寄せて貸出できるようにした。そのためパソコン等で予約した本の受取場所を市内 4 つの図書館より自由に選ぶことができるようになり利便性が高くなった。しかし魅力ある図書館として新鮮な資料の充実と老朽化した施設の補修が必要。又、臨時職員のみでの現有の体制では新たな事業への取組が困難である。
		外部評価	A	図書館管理運営事業は生涯学習や社会教育の充実に不可欠な事業であり、システムの改修によりインターネットによる蔵書検索・予約に加え、図書の受取・返却がどの図書館でも可能になった事は高く評価できる。今後は蔵書等の充実に取り組んで貰いたい。

委託学級事業 (生涯学習課)	地域住民（高齢者、 婦人、成人、家庭教育、 青少年、PTA等）の 学習機会を拡充するた めに事業の開設運営を 委託する。	内部 評価	B	地域との関わりが薄くなっている 中、学級を通して地域の交流を深める 機会になっている。市民の自主的な学 習活動がある程度支援できた。
		外部 評価	B	地域住民の関わりが薄くなっている 中で、生涯学習を通して市民が交流す る場を提供することは重要である。応 募団体が少ないという事から、今後は 委託学級事業の事務手続きを簡素化す るとともに、市民への周知を強化する 必要がある。

(2) 学校教育の充実

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総 合 評 価	評 価 の 説 明
幼稚園預かり保育 (教育総務課)	幼稚園教育終了後の 午後から夕方 6 時まで の間、幼児を幼稚園に て預かり教育活動を実 施する。	内部 評価	A	昨年度、玉城地区（玉城・船越・百 名）にて、待機園児が 17 名発生した。 今年度は 3 園単独での受入により待機 待ちが解消され、家庭や地域における 幼児期の教育支援に寄与した。
		外部 評価	A	市内 4 地区で預かり保育を実施し、 定員 180 名に対し 132 名の利用者があ り、待機園児が解消され、家庭や地域 における幼児期の教育支援が行われて きたことは高く評価できる。今後とも 継続して預かり保育の充実をさせて貰 いたい。

学力向上対策推進事業 (教育総務課)	<p>推進要項を策定し、総会において事業計画や予算案等の承認を得た後、事業推進を図った。学校においては学校訪問を通して学対の取組を確認するとともに、3つの部会を組織し、有機的・機能的な体制構築に努めた。地域教育懇談会等を効果的に展開することで、学校、家庭、地域の三位一体の学力向上の取組を強化した。</p>	内部評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の授業改善に向けての意識向上が図られた。(指導法工夫改善、少人数指導の展開) ・全国学力学習状況調査は基礎基本の取組は向上しつつあるが、活用力や応用力の強化までは至っていない。 ・家庭学習の充実強化を目指し、「算数・数学問題集」(親子で楽しむ家庭学習)を作成することが出来た。 ・学校支援ボラの充実促進と他地区への波及体制づくりに努める必要がある。
		外部評価	B	<p>学校・家庭・地域が一体となって学力向上に取り組んだことにより、子ども達に確かな学力を身につけさせることが出来たことや、教職員の授業改善に向けての意識改革を図ったことは評価できる。今後は、学習支援ボランティアの充実促進と家庭学習の定着化を図る工夫をして貰いたい。</p>
学習意欲回復支援員配置事業 (教育総務課)	<p>①教科指導の支援 ②体験的学習の設置</p>	内部評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援員を効果的に活用(習熟度別学習指導)することにより、基礎的・基本的な学習を図ることができた。 ・全国学力学習状況調査による南城市の学力向上支援策として功を奏した。
		外部評価	A	<p>一斉指導の学習についていけない児童生徒を支援するための学習意欲回復支援員による習熟度別学習指導により、児童生徒の学力が向上している事は高く評価できる。今後は市内の全ての小中学校への配置に取り組んで貰いたい。</p>

生徒指導・ 教育相談事業 (教育総務課)	生徒指導・教育相談 担当者会の開催、生徒 指導ケース会議の開催。	内部 評価	B	平成 21 年度の児童生徒の暴力行為 等の件数は、15 件である。これは平 成 20 年度に比べると 9 件の減少であ る。 不登校児童生徒の人数は 36 人で、 平成 20 年度に比較して、3 人増加し た。
		外部 評価	B	児童生徒の問題行動が減少したこ と、小中学校や関係機関との連携が強 化されたことは高く評価出来る。今後 は不登校児童生徒のための「適応指導 教室」の設置に取り組んで貰いたい。
生徒指導総 合連携推進 事業 (教育総務課)	①文部科学省より、大 里中学校区地域が地域 指定を受けている事業 である。(H 21・H22) ②学校・家庭・地域の ネットワークを踏まえ た実践的な生徒指導の 取組を研究する。	内部 評価	B	①校内では、重点取組が明確にされ、 研究組織を確立して取り組まれた。 ②推進委員会や生徒指導担当者会等 で、情報交換会や協議をすることによ り、小中学校間及び学校と家庭・関係 機関との連携を強化した。
		外部 評価	B	生徒指導総合連携推進事業により小 中学校、地域住民、関係機関等との連 携が強化され、問題行動や不登校児童 の減少や家庭学習、清掃活動が良くな ったことは評価できる。今後はこの成 果を他の地域にも活用して貰いたい。
特別支援教 育事業（へ ルパー、特 別支援教育 支援） (教育総務課)	通常の学級に在席す るLD/ADHD/高 機能自閉症児/知的障 害児への支援体制の充 実	内部 評価	B	年度途中の子どもの変容（悪化）が みられた場合への対応や、特別支援学 級の開設ができなかった場合の対応を 検討する必要がある。 久高島（離島）における特別支援教 育支援員の配置には配慮が求められる。
		外部 評価	B	心身障害児・軽度発達障害等にかか る児童・生徒への身辺介助、学習支援 について個別の状況に応じた効果的な 支援が出来た事は評価できる。今後は 更なる支援の充実に取り組んで貰いた い。

<p>就学指導事業 (教育総務課)</p>	<p>校内就学指導委員会の適正化と市就学指導委員会との連携と就学先の支援</p>	<p>内部評価</p>	<p>A</p>	<p>市として適正な就学判定が必要な幼児・児童・生徒への諸検査、審議が適切に行われたことにより、特別な支援を要する子ども達が求められる支援環境のもとに教育を受けることができた。</p>
		<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>就学判定に必要な諸検査を行い、幼児・児童・生徒の障害に対応した就学先が選定されたことは高く評価できる。今後は、保育園、幼稚園、小学校、中学校を通して一貫した支援が出来る体制の整備に取り組む必要がある。</p>
<p>学校支援地域本部事業 (生涯学習課)</p>	<p>学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的とし、自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指し豊かな表現力と粘り強さをもつ児童生徒の育成を図る。</p>	<p>内部評価</p>	<p>B</p>	<p>地域ボランティアが教育活動に関わることで様々な体験活動を提供することができた。</p>
		<p>外部評価</p>	<p>B</p>	<p>地域ボランティアが教育活動を支援することで児童生徒が様々な体験が出来た事は評価できる。今後は地域ボランティアの体制の強化を図るとともに佐敷地区、大里地区における地域ボランティアの組織化に取り組んで貰いたい。</p>
<p>学校給食事業（給食の充実） (教育総務課)</p>	<p>児童生徒に安全でおいしい給食の提供と食に関する教育。</p>	<p>内部評価</p>	<p>A</p>	<p>安全でおいしい給食の提供、食に関する教育は概ね達成できた。また、「弁当の日」の実施により食に関する関心も高まった。これからは、地産地消できる生産物の活用の取組が必要である。</p>
		<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>学校給食は食に関する教育の一環として重要であり、各学校において、栄養教諭及び栄養士による食教育が展開されたことは高く評価できる。今後とも食に関する教育を推進するとともに、農水産物の豊かな南城市においては地産地消の活動をさらに強化して貰いたい。</p>

学校給食事業（徴収業務） （教育総務課）	児童生徒に安全でおいしい給食を提供するために円滑な運営を行う。	内部評価	C	給食費の徴収状況が 92.5 % と低く、市からの補填で賄っている状況で、この状態が続くと、学校給食の存続自体も危うくなる。もっと、徴収方法も強化する必要がある。
		外部評価	C	学校給食は児童生徒に安全でおいしい食事を提供する重要な事業である。給食費の収納状況の悪化は学校給食の存続にかかわる大きな課題であり、保護者に対する啓発や意識改革を行うとともに経済状況等を分析して悪質と思われる未納者に対しては法的措置を実施して貰いたい。

3) 国際化・情報化への対応

事業名 (担当課)	事業概要	評価区分	総合評価	評価の説明
外国青年招致事業（JETプログラム） （教育総務課）	国際化の流れに対応した教育の推進にあたって、様々な機会を通して国際理解を深める為の学習の拡充に努め、国際性豊かな視野の広い人材の育成に努める。	内部評価	A	新学習指導要領の完全実施に伴い、南城市は小学校英語活動の先進地域になっている。また、中学校でもALTを効果的に活用した授業展開を図ることができた。 小中英語活動の必修化に伴う指導の充実、南城市英語研究開発事業の充実、市内教職員の英語に対する意識の高揚が図られた。
		外部評価	A	南城市が、小学校英語活動の先進地域になっていること、また、小中学校における英語指導の充実等が図られたことは高く評価できる。今後とも国際社会で活躍できる児童生徒の育成に努めて貰いたい。

小学校英語 指導助手配 置事業（A L T） （教育総務課）	市内小学校へA L T （英語指導助手）を配 置する。	内部 評価	A	21年度も20年度同様に平成23年度から本格実施される小学校英語教育を推進することができた。
		外部 評価	A	平成23年度から実施される小学校英語教育に向けて、文部科学省指定の英語研究開発学校事業を活用したことは高く評価できる。今後ともグローバル社会に対応できる人材育成のため英語教育に取り組んで貰いたい。
南城市中学 生・高校生 海外短期留 学事業 （教育総務課）	沖縄県内市町村海外 短期留学実行委員会、 南城市、中城村、北中 城村、伊平屋村、大宜 味村の中学生、高校生 を対象に夏休み海外短 期留学事業に市内から 20人を派遣。	内部 評価	A	1市4村から43人の留学生が参加、本市から20人（中学生15人、高校生5人）を派遣することができた。 第二言語としての英語教育を本場アメリカで経験することにより、今後のキャリア教育との関係で進路選択にも幅が広がり英語教育への関心が高まった。
		外部 評価	A	中高校生に海外での学習機会を与えることは、これからのグローバル社会に対応した人材育成として高く評価できる。今後とも協賛企業等の支援も受け、本事業が継続できるように取り組んで貰いたい。
夏休みE S Lキャンプ 事業 （教育総務課）	夏休みE S L事業に 20人を派遣。	内部 評価	A	1市4村から40人が参加。本市から20人（小学生15人、中学生5人）を派遣することができた。また、短期留学受入大学のセントジョーンズ大学から講師を招聘して実施することができたことは、英語に対する関心も高まった。
		外部 評価	A	小中学生に英語の学習機会を与える事は、これからのグローバル社会に対応した人材育成として高く評価できる。今後とも協賛企業等の支援も受け、本事業が継続できるように取り組んで貰いたい。

文部科学省 指定研究開 発学校事業 (教育総務課)	小学校英語活動、中 学校英語教育の充実、 小中連携した英語教育 の充実	内 部 評 価	A	各学校における教職員、管理職の 研究への意識付けができた、 各少中学校での研究開発推進体制 の構築ができつつある。 他地区に先駆けて小学校英語活動、 中学校教育の連携推進を図ることが できた。
		外 部 評 価	A	南城市が他地区に先駆けて小学校 英語活動・中学校英語教育の推進を 図ることが出来た事は高く評価でき る。今後とも国際理解教育・英語教 育の推進に取り組んで貰いたい。

(5) 社会教育の充実

事業名 (担当課)	事業概要	評価 区分	総 合 評 価	評 価 の 説 明
放課後子ども プラン事業（放課後 子ども教室） (生涯学習課)	子ども達の安全で健 やかな居場所づくりを 推進するため放課後や 週末等に勉強やスポー ツ、文化活動に取組、 心豊かで健やかに育ま れる環境づくりを推進 する。	内 部 評 価	A	百名小学校地域連携室を活用し子 どもたちの安全・安心な活動拠点を 設け、地域ボランティアの参画で交 流活動等の実施ができた。一方本事 業は地域ボランティア（一部有償） により運営されるため、スタッフ確 保に課題がある。
		外 部 評 価	A	放課後の百名小学校の子ども達の 安全確保や勉強・スポーツ活動など の拠点となる居場所を提供したこと は高く評価できる。今後は他の地域 にも同様な場所が提供できるよう取 り組んで貰いたい。

(6) スポーツの振興

事業名 (担当課)	事業概要	評価区分	総合評価	評価の説明
社会体育事業（スポーツ教室・大会） (生涯学習課)	市民に生涯スポーツの推進を図るため、スポーツ教室、スポーツ大会を開催。	内部評価	A	生涯スポーツ振興及びスポーツ精神の高揚、市民の健康増進に寄与、地域のふれいあい、青少年の健全育成が図られた。
		外部評価	A	スポーツ教室やスポーツ大会を開催することにより市民の健康増進、スポーツ振興が図られるとともに、青少年の健全育成、地域の触れ合いの場が提供できた事は高く評価できる。今後とも本事業を継続して貰いたい。
社会体育施設管理運営事業 (生涯学習課)	社会体育施設の維持管理及び利用管理	内部評価	B	市民の健康づくり、競技力向上に施設の利用はあるものの、時期、施設利用に偏りがある。また、施設及び設備も老朽化がすすみ、故障等で利用者に迷惑を掛けている部分もある。
		外部評価	B	社会体育施設の利用申し込み方法にインターネット予約、電話予約等で利用しやすい環境を作った事は評価できる。今後は、社会体育施設の利用状況に偏りがあることや老朽化の進行に対しては施設の統廃合も含めた整備計画を策定し、施設整備に取り組む必要がある。

<p>チャレンジ デー200 9事業 (生涯学習 課)</p>	<p>毎年5月の最終水曜 日にスポーツや運動を するきっかけづくりを 提供する。</p>	内部 評価	B	<p>各種団体の運営は定着し参加率は アップしているが、市職員、市民に 対する周知が浸透してない部分があ る。</p>
		外部 評価	B	<p>チャレンジデーは、スポーツや運 動を通して市民の健康維持、体力増 進を図る事業であり、市民の参加率 が上がった事は評価できる。今後は より多くの市民に参加して貰うため 健康課、地域、各種団体等と連携す るとともに周知方法についても更なる 工夫を凝らして貰いたい。</p>
<p>玉城陸上競 技場整備事 業 (教育施設課)</p>	<p>玉城陸上競技場クラ ブハウス建設用地磁気 探査委託業務 N = 42 点 グラウンド改修調査測 量設計委託業務 A = 24,000 m² クラブハウス改築 基本・実施設計委託業 務 A = 350 m²</p>	内部 評価	A	<p>老朽化への対応、収容規模の拡大 などの課題解決に向けて基本実施設 計を行い、市民の交流と健全な心身 をつくる施設として設計され、実施 に向けた基礎作りができた。</p>
		外部 評価	A	<p>老朽化した施設を改修拡大し、市 民のスポーツ振興、健康増進、競技 力向上等の拠点として整備すべく基 本・実施設計が出来た事は高く評価 できる。今後は基本・実施設計に基 づいて施設整備に取り組んで貰いた い。</p>

(7) 文化の振興

事業名 (担当課)	事業概要	評価区分	総合評価	評価の説明
琉歌募集事業 (文化課)	市内の文化財を題材にした琉歌を募集して、応募された作品の中から、優秀作品を表彰する。また、応募作品の活用を行うことにより、市の文化財の継承、ひいては今後のまちづくりに生かしていく。	内部評価	B	県内外から、147首の応募があり、選考の結果、大賞1名、優秀賞5名を表彰した。琉歌募集を通して、市内の文化財のアピールにもつながった。また、作品展やカレンダーへの記載などの活用を行っている。
		外部評価	B	県内外から147首の応募があり、南城市の歴史・文化への関心・理解を高めることに繋がった。南城市民への周知を更に図るとともに、方言・琉歌・俳句・短歌などの学習活動とも連携して市民の応募を拡大する必要がある。
補助金交付事業（無形文化財の育成・指定文化財の清掃管理） (文化課)	①市内無形文化財の保存継承を行っている育成団体（20ヶ所：保存会や区・自治会）への補助 ②指定文化財の管理者に対して、清掃管理の補助としての補助金交付	内部評価	A	育成団体の多くが地域で積極的な保存継承のための活動を行っていて、次世代への継承は滞りなく行われている。また、指定文化財の清掃管理も行き届いており、補助金交付は一定の成果をあげている。
		外部評価	A	地域文化振興の観点から重要な事業であり、継続すべきである。交付額については公正・公平な助成に努めるとともに、補助対象の文化財の掘り起こしについて更に調査研究が必要である。
糸数城跡保存修理事業 (文化課)	城郭石積保存修理工事や周辺の歴史的風致景観の復元を実施する。	内部評価	B	発掘調査等の成果をもとに、北のアザナ南側城壁を整備計画の3分の2まで復元した。年次計画通り修復工事が進んでいる。
		外部評価	B	糸数城跡保存修理事業は発掘調査の成果に基づく整備計画に従って修復が進んでおり、継続すべきである。今後は組織体制の強化を図り、修復された城跡の保存とその活用にも取り組む必要がある。

佐敷地区発掘調査事業 (文化課)	佐敷上グスクを中心に、尚巴志・思紹関連文化財のある遺跡を国指定に向けた資料の収集。	内部評価	B	目標年度 平成23年7月具申書提出予定。遺跡の内容については、そろそろ詰めの段階にきている。しかしながら地権者の了解や具申に必要な地籍等の図面作成等に時間がかかっている。
		外部評価	B	佐敷地区発掘調査事業は国指定重要文化財の指定に向けて実施されており、国指定の具申書提出に向け継続すべきである。地権者の同意取付については組織体制を強化して取り組む必要がある。
大里地区発掘調査事業 (文化課)	国庫補助事業を受け、島添大里グスク内の発掘調査等を実施し、島添大里グスク周辺の国指定に向けた資料の収集を実施するとともに、グスク周辺で実施される都市公園事業「大里城趾公園整備事業」に対する適切な保存を図るための資料作成	内部評価	A	島添大里グスクの調査は、国指定を目的とした調査であり、そのための発掘や測量等の調査による資料作成は、指定に向けた調査として大変重要なものとなっており、今後継続されて行われる調査においては、さらに詳細な資料を積み重ねることによって、国指定への可能性が高まるものとなっていく。また、国指定に向けた検討会を実施し、より詳細な資料の作成を実施しており、指定に向けた重要な事業である。
		外部評価	A	島添大里グスクの調査は、国指定重要文化財の指定に向けて実施されており、国指定の具申書提出に向け継続すべきである。大里城趾公園整備事業との整合性を図り、文化財としての保存・継承・活用に取り組む必要がある。

齋場御嶽出土品保存修理事業 (文化課)	齋場御嶽から出土した金製勾玉・厭勝銭・銭貨・青磁器の修理や化学分析作業を実施し、展示用も兼ねる保管箱を制作した。	内部評価	A	齋場御嶽の出土品は、平成13年度に国の重要文化財に指定され、注目を集めた。しかし、常設展示施設がなく活用面においては充分とはいえない状況にあった。今回の事業を実施することで資料の保存状況を改善するとともに、効率的な活用が容易になった。
		外部評価	A	重要な出土品を専門家に委託し、適切な保存・活用に努めた事業として高く評価できる。今後は出土品等の文化財のさらなる活用を図るため、常設展示施設の整備に取り組む必要がある。
文化財総合的把握モデル事業 (文化課)	平成20～22年度の継続事業。文化財基礎調査及び台帳整備、「南城市歴史文化基本構想計画」及び「保存活用計画」の策定。主な文化財所在地（保存活用区域）との協働作業（ワークショップ・文化活用イベント開催）など。	内部評価	B	本事業を実施することによって、全国的にも個性的な南城市の歴史文化を今後のまちづくりにどう生かせばよいのかという、基本的な考え方をまとめることができた。
		外部評価	B	南城市の文化財の保存・活用に向けた台帳及び基本構想等が整備されたことは高く評価できる。今後は、この成果を都市計画・観光関連部局等との連携を図り、まちづくりに反映させる取組が必要である。
仲志原壕緊急発掘調査事業 (文化課)	大里南小学校移設敷地内において、不時発見の壕が確認された。記録保存措置のための緊急発掘調査（単年度事業）	内部評価	B	壕内の使用者及び戦争時の状況等を確認。記録された証言等と仲志原一帯での戦況などを、一部復元することができた。また、調査記録を報告書として刊行した。南城市として初めての戦争遺跡発掘調査となる。
		外部評価	B	校舎建設の過程で発見された壕を緊急調査し、一部復元、調査記録の報告書を刊行したことは高く評価できる。今後も同様の辞令については迅速な対応が必要である。

<p>市史編さん事業（「南城市史 総合版（通史）」） （文化課）</p>	<p>南城市民としての共通の歴史観や、関連性を通史（各分野、各年代を広く記述すること）として編さんする。ダイジェスト版的な意味合いを込めて、第1巻ではなく総号版とする。</p>	<p>内部評価</p>	<p>A</p>	<p>南城市初の歴史書として市史編集基本計画に盛り込まれた「南城市史 総合版（通史）」が計画通り3年で発刊された。また、編集方針どおり、市民に親しみ読まれる内容にすることができた。各執筆者の先生方も、親しみ読みやすい本を作るということで、大変心を砕いていただいた。</p>
		<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>『総合版（通史）』は編集方針、仕上がり共に良く、一般市民や児童生徒にも読み易く所期の目的を達成している。今後、この本が南城市の歴史・文化を内外に発信するとともに、先人達が築き上げてきた歴史・文化遺産を大切にする市民の気運を盛り上げるため活用されることを期待する。</p>
<p>市史編さん事業（「御嶽・グスク編」） （文化課）</p>	<p>南城市内に点在する御嶽・グスク等拝所を調査・研究・記録し後世に伝える。</p>	<p>内部評価</p>	<p>D</p>	<p>調査段階で区長さんに調査票の記入を依頼したが、提出件数が少なく方法に難があると考えている。今後、調査員を配置し、各字に入って古からの聞き取りを進めていきたい。</p>
		<p>外部評価</p>	<p>D</p>	<p>地域の区長（自治会長）を対象にした調査では十分な成果が得られないことから、今後、専門の調査員を配置して、地域の古・学識経験者からの聞き取り調査を行う必要がある</p>

(8) 教育行政の充実

事業名 (担当課)	事業概要	評価区分	総合評価	評価の説明
学力向上対策推進事業 (リカレント教育) (教育総務課)	沖縄県には、戦中、戦後の混乱期に働き手を失ったり、避難、引き上げ等の様々な理由から義務教育を十分に受けられなかつたり、義務教育の未終了者がかなりいる。そこで、本市では向学心を抱き、学ぶ場と機会を求めているような方たちを対象に学校教育を受講する機会を提供していくこととした。	内部評価	B	・混乱期中、義務教育を十分に受けることができなかつた方たちに、近隣の学校において、孫のような子ども達と学習の機会を提供することができたことは、それだけでも効果は計り知れないものである。 ・受講した皆さんが、学校や学級に通うことに大きな抵抗感を持つこともなく、学習することが新たな生き甲斐に繋がることを拝聴すると、事業の有効性は高いものといえる。
		外部評価	B	戦中、戦後の混乱期や家庭の事情から義務教育を受けることが出来なかつた人を対象とするリカレント教育は、受入れ先の児童生徒にも良い影響を与える素晴らしい事業であり評価できる。今後ともリカレント教育が受講しやすい環境づくりを推進して貰いたい。
大里南小学校建設事業 (教育施設課)	大里南小学校の全面移転による建設工事(敷地造成工事、磁気探査委託業務)	内部評価	A	学校の移転整備について、地権者及び地域住民の方々の理解により敷地造成工事が完了した。また、校舎及び屋内運動場の基礎箇所における磁気探査により不発弾の有無を確認でき、安心して校舎改築工事・屋内運動場改築工事を発注し施行を実施している。
		外部評価	A	学校移転の方針の下に短期間に地権者、PTA、地域住民等の理解を取付け、敷地造成や磁気探査による不発弾除去を経て、校舎・屋内運動場の建設工事を発注した事は高く評価できる。引き続き運動場整備、屋外環境整備に取り組んで貰いたい。

船越小学校 建設事業 (教育施設課)	船越小学校の改築工事 A = 4,893 m ² 文科面積	内部 評価	A	平成 21 年度は、老朽化した校舎改築のために、基本及び実施設計を行い子どもたちの学習意欲や安全性を確保する設計を行い、実施に向けた基盤づくりが確保できた。
		外部 評価	A	老朽化による剥離等で児童生徒に対して危険な状態となっている校舎改築のための基本設計・実施設計が実施できたことは高く評価できる。引続き、老朽化した施設の改築に取り組んで貰いたい。
玉城幼稚園 整備事業 (教育施設課)	玉城幼稚園建設用地 磁気探査委託業務 N = 42 点 玉城幼稚園（改修・改築）基本・実施設計 委託業務、園舎平屋建 改築 A = 645 m ² 改修 A = 742 m ² 玉城幼稚園敷地造成 用地測量設計委託業務 A = 3,200 m ²	内部 評価	A	少子化への対応、指導体制の維持強化、施設の老朽化などの課題解決に向けて基本実施設計を行い、安全で安心して生活できる教育環境、教育効果の向上を図る施設として設計され、実施に向けた基礎づくりができた。
		外部 評価	A	少子化への対応、指導体制の維持強化、施設の老朽化等の課題解決のため船越、玉城及び百名の3幼稚園の統廃合について関係者の合意形成を行い、基本・実施設計ができたことは高く評価できる。今後は基本・実施設計に基づいて施設整備に取り組んで貰いたい。
佐敷中学校 屋外環境整備事業 (教育施設課)	下水道接続工事 屋外環境整備工事 グラウンド舗装 A = 6,500 m ² 取付舗装 A = 135 m ² 駐車場舗装 A = 1,067 m ²	内部 評価	A	下水道の接続により、学校現場における衛生環境の充実が図られている。また、屋外環境整備（グラウンド・来客駐車場）工事により雨天後の水たまりや雑草等が改善され、駐車場においては、来客者に快適な駐車スペースの確保もでき、利用者に喜ばれている。
		外部 評価	A	グラウンド、外来者駐車場及び下水道工事の実施により、雨天後の運動場の水たまりを解消し、学習環境を大きく改善する事ができ、外来者にとっても快適な駐車スペースが確保された事は高く評価できる。

佐敷中学校 屋内運動場 改築事業 (教育施設課)	屋内運動場改築 (A = 1,611 m ²) 内、屋内運動場 A = 1,300 m ² 武道場 A = 311 m ²	内部 評価	A	建築確認、適判機関との調整に想定外の期間を要し、計画通り事業が進捗せず事故繰越により達成したが、事業自体に特段の問題もなく、生徒たちに安全で快適な学習環境を提供できた。
		外部 評価	A	国の制度改革の影響を受けて建築確認、適判期間との調整に想定外の期間を要し、事故繰越の末に事業完了したが、計画通りの施設が整備され、安全で快適な学習環境ができた事は高く評価できる。
学校施設の 維持管理に 関する事業 (教育施設課)	市内教育施設 (学校、 幼稚園など) の校舎や 施設設備の維持管理	内部 評価	B	老朽化した建物や設備も多く、修繕に時間と経費を要するため学校からあがっているすべての要望をすぐに解決できていない。しかし、日々の学校生活に支障がないよう、急を要する場合にはその都度対応している。
		外部 評価	B	日々の学校生活に支障が無い様、急を要する修繕等についてはシルバー人材を活用して即応体制を整備した事は高く評価できる。老朽化した建物や設備が多い事については、今後、計画的に整備する必要がある。